

## 令和4年度 国民健康保険組合 被保険者全国大会

11月17日 有楽町朝日ホール

### 組織基盤・財政基盤の安定確立のために



### 国民健康保険組合に対する国庫補助制度の 維持改善を含む7項目の決議を採択

#### 主催者挨拶



全国国民健康保険組合協会  
会長

渡邊 芳樹 氏

全国国民健康保険組合協会（全協）主催の標記大会が3年ぶりに開催され、全協加盟の国民健康保険組合（国保組合）関係者等が参集した。大会では、国庫補助制度の維持改善など7項目の決議を満場一致で採択した。大会終了後には、決議の実現に向け、政府・与野党に対して陳情活動を展開した。

「独立した保険者としての役割を果たし続ける」（渡邊会長）

全協の渡邊会長は主催者挨拶で「定率補助の更なる見直し、廃止について検討されているが、到底受け入れられるものではない。健全な財政運営を続けてきた国保組合も難しい運営を迫られているが、引き続き独立した保険者としての役割を果たし続ける」と述べた。

平成30年度から地域国保の財政主体が都道府県化されたことについて触れ、「財政が安定化し、その後順調に推移している状況下において、これまでの

国保組合に対する抑制的な取り扱いを見直し、同種同業が同じ仲間の保険集団に加入できるように、その取扱いの緩和を強く求めていく」と強調した。

高額医療費共同事業、保健事業及び保険者インセンティブについては、「国保組合が自主的な運営に基づく保険者機能を発揮し、必要な支援が行われるように強く求めていく」と述べた。

また、来賓の高木有生厚生労働省国民健康保険課長（堀国民健康保険課長補佐が代読）は、すべての世代が安心できる社会保障制度の構築が喫緊の課題などと挨拶した。

引き続き、国会議員等の来賓挨拶の後、議長団の選出や決議文の説明が行われ、7項目の決議を満場一致で採択した。

最後に、栄畑大会副会長が閉会の辞を述べ、大会は終了した。

#### 決議

- 一、国保組合に対する現行国庫補助制度を維持改善すること
- 一、国保組合の新設及び地区の拡張の取扱いを緩和すること
- 一、同種同業に従事する者がその業種を対象に設立された国保組合に加入できるように健康保険適用除外承認の取扱いを緩和するとともに、組合特定被保険者に係る補助率を協会けんぽ並に引上げること
- 一、被用者保険の更なる適用拡大としての非適用業種の見直しの検討は、対象となる中小規模事業所を母体とする国保組合の持続可能性と健全な運営に深刻な影響を与えかねず、厳に慎重に検討すること
- 一、国保組合の事業運営が円滑に推進できるよう、高額医療費共同事業、保健事業及び保険者インセンティブに対する国庫補助を充実すること
- 一、オンライン資格確認等システムの円滑な運用やデータヘルス改革の推進には、国の責任において財政支援をはじめ必要な措置を講じること
- 一、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、国保組合の安定的な事業運営が確保できるよう、国の責任において十分な財政支援を講じること

# 国保制度改善強化全国大会

11月18日 砂防会館

## 公費投入の確保、確実に



### 国保財政の基盤強化に向けた 支援充実など11項目の決議を採択

#### 主催者挨拶



国民健康保険中央会 会長  
(高知県高知市長)

岡崎 誠也 氏

国民健康保険中央会（国保中央会）など国保関係9団体主催の標記大会が開催され、全国から自治体の首長や与野党の国会議員等が参集した大会では、国保財政の基盤強化に向けた支援充実など11項目の決議を満場一致で採択した。大会終了後には、決議の実現に向け、政府・与野党に対して陳情活動を展開した。

#### 財政基盤を強化し、 財政支援の拡充を（岡崎会長）

要な責任を果たしていただきたい」と強調した。

具体的には、毎年3400億円の公費投入を確実に実施することや、政府の骨太の方針で検討が求められている生活保護受給者の国保等への加入の議論には、「国保財政を悪化させる恐れがあることから、一貫して反対する」と述べた。国保総合システムの次期更改や運用に当たっては、保険者に追加的な財政負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を講じること。次期更改のための財政措置について、令和4年度第2次補正予算案において所要額が措置されたことについては、関係者に感謝するとともに、「今臨時国会における早期の予算成立を強く要望する」と述べた。

また、「我々国保関係者は保険者機能を発揮し、引き続き事業運営に努力していく所存だが、国保制度を持続可能なものとしていくためには、国も重要なものとしていくためには、国も重要な責任を果たしていただきたい」と述べた。

#### 決議

- 一、医療保険制度の一本化を早期に実現すること。
- 一、国保の財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施するとともに、保険者努力支援制度等が有効に活用されるよう、適切な評価と財政支援の充実を図ること。
- 一、普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能は、今後も堅持し、見直しを行わないこと。
- 一、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、国保制度の運営の安定を図るとともに、医療・保健・介護の人材及び公立病院等の医療提供体制を確保するため、地方自治体及び国保連合会に対して十分な支援措置を講じること。
- 一、子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料（税）の軽減制度の拡充を行うこと。
- 一、生活保護受給者の国保等への加入の議論については、見直しを行わず国としての責任を果たすこと。
- 一、国保総合システムは、医療分野におけるDX推進の柱であり、次期更改や運用に当たっては、市町村等保険者に追加的な財政負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を確実に講じること。
- 一、国保連合会が地方自治体の医療・保健・介護・福祉業務支援の役割を十分に果たせるよう、必要な措置を講じること。
- 一、国民の健康保持・増進及び医療費適正化に向けKDBシステムの更なる活用を進めるため、制度的役割の拡充を図るとともにシステム更改等に係る財政措置を講じること。
- 一、オンライン資格確認等システムの普及やデータヘルス改革の推進に当たっては、国の責任において財政支援の充実をはじめ必要な措置を講じること。
- 一、国民健康保険組合の健全な運営を確保すること。

# さらなる収納率向上を目指して

## 令和4年度 国民健康保険料(税) 収納率向上対策研修会 【事例検討編・取組事例編】

12月7日 本会会議室



### 事例検討編

講師：公益財団法人 東京税務協会 専門講師 青柳 進氏

#### 事例検討1 職権による換価の猶予

「取引先が倒産、医療費がかさみ、納付ができない」

#### 事例検討2 納税義務の承継

「相続された料(税)は誰が払うの」

#### 事例検討3 預金の差押え「二重差押え・差押えの注意点」

上記の3事例について、冒頭、講師から問題の説明があり、参加者は各自で行動内容等を考察した。

その後、講師から各種事例に関する法律的な根拠等について解説いただくとともに、実務で取り扱う上での留意事項や考え方を、講師の実体験も交えてお示しいただいた。

#### ●●●● 受講者アンケートから ●●●●

換価の猶予について理解が深まった。

交付要求、参加差押え、二重差押えの違いが良く理解できた。 等



研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として人数制限などを行った上で実施し、保険者の担当者ら26名が受講した。  
事例検討編では、困難事例に対応することができる実践的処理能力の向上を目的として、講師から出題された3事例の問題演習を中心とした実務研修が行われ、取組事例編では「文京区 収納率向上の取り組み」と題し、文京区から取組内容の発表が行われた。

### 取組事例編

講師：文京区 福祉部 国保年金課 国保滞納整理係長 杉岡 秀樹氏

#### 【文京区 収納率向上の取り組み】

##### 現年徴収の改革ポイント

- ①通知の目立つ化 ②現年でも滞納処分の実施
- ③納付交渉のやり方改革

##### 滞繰徴収の改革ポイント

- ①短期証・資格証発送の省力化 ②事案完結への徹底 ③搜索

納付交渉のやり方改革では、相談時に滞納原因や収支状況の確認がきちんとできていなかった点等を問題として挙げ、着任1年目では、納付相談を受ける職員の意識改革を図ったと述べた。具体的には、期限を決めた短期分納の徹底で、それが難しい場合には「生活状況申告書」の提出を求め、収入・資産状況を明らかにした上で完結までの道筋を考えることにした。また、具体的な交渉テクニックとして、相手の主張への切り返しのパターンについて、自身の経験を踏まえた様々な例をご紹介いただいた。

短期証・資格証発送の省力化では、「短期証・資格証」を武器に交渉するのではなく、メインは「差押」として「短期証・資格証」は接触機会の確保に重点を置く形で発行業務を省力化し、「差押」とのハイブリットにしたことなど具体的な運用の変更点についてご説明いただいた。

#### ●●●● 受講者アンケートから ●●●●

視覚的に支払い意欲に繋がる封筒や催告書等を検討したい。納付交渉技術の向上になる研修であった。 等



# 正しい筋力トレーニングを学ぶ

令和4年度  
東京都在宅保健師の会 学習会・交流会

11月12日 本会10階会議室



「生活の中の動きを意識するだけで筋力アップ」  
～ 1日1回でも 3か月続けることで実感～



講師  
作業療法士 木下 美恵子 氏

学習会終了後の交流会



作業療法士の木下美恵子氏を招き、日常生活の中で取り組む筋力強化方法を学ぶため、在宅保健師12名が学習会を受講した。

前半は、筋力強化の効果や運動を継続させるための方法等について学び、後半では、座位や立位等で行うことができる運動について実技指導をしていただいた。

専門家からの個別指導はとても貴重な時間であり、「ゆっくり動かすと筋力につながっていくことなど学べた」との感想も寄せられた。

学習会終了後は交流会が開かれ、近況報告等の情報交換が行われた。

本会が支援を行った保険者主催の保健事業について紹介します

**支援状況** 派遣人数(※1)/貸出機器(※2)/参加(測定)人数/支援内容

※1 ㊦：本会保健師 ㊦：在宅保健師の会保健師

※2 脈：加速度脈波計 体：体成分分析装置 骨：超音波骨量測定装置

## 4国民健康保険組合(※)

※東京食品販売国民健康保険組合、東京料理飲食国民健康保険組合、東京美容国民健康保険組合、東京浴場国民健康保険組合

10月6・12・18・25・27日

### 特定健康診査4保険者共同実施(会場型健診)

(サンシャインシティ文化会館、すみだ産業会館、五反田TOC、AP西新宿、三鷹産業プラザ)

㊦1名(各日)/なし/計720名/「血管年齢測定」結果説明及び保健相談・指導

## 狛江市

10月27日

### 国民健康保険健康測定会

(狛江市役所防災センター)

㊦1名・㊦1名/脈・体・骨/計45名/機器操作・結果説明

## 文京区

11月16日

### 文京区血管年齢測定会

(文京シビックセンター)

㊦1名・㊦1名/脈/計269名/「血管年齢測定」後の結果説明及び特定健康診査の勧奨

本会では、保険者が行う健康づくり事業への支援や健康関連機器の貸出を行っております。

[お問い合わせ先] 企画事業部 保健事業課 03-6238-0164

